



# 博物館学特別講義

# 学術標本・資料学

標本はどのように  
作られているの？

博物館学特別講義Ⅰでは各専門分野における標本・資料の  
意味、取り扱い方を理解します。具体的には、標本・資料  
の採取・収集法、保管法、利・活用の技法、データ整理・公開  
法などについての知識や考え方を習得します。実際に標本に  
触れてみたり、普段入ることのできない標本庫に案内して  
もらうことのできる、充実した授業内容です。

博物館の標本庫は  
どのようになっているの？

標本と骨董品との  
違いは？

2017年9月29日(金)開講

日時：毎週金曜日(5講時) 16:30～18:00

場所：総合博物館3階 共同研究室(N309)

## 自然史分野

哺乳類・鳥類(昆泰寛)

分子系統進化(増田隆一)

陸上植物(高橋英樹)

岩石・鉱物(山本順司)

古生物(小林快次)

昆虫データベース(大原昌宏)

魚類(矢部衛)

昆虫(吉澤和徳)

海藻(阿部剛史)

## 文化史分野

縄文・アイヌ文化考古学(小杉康)

言語学(丹菊逸治)

動物考古学(江田真毅)

民族学(佐々木亨)

映像・技術史(山下俊介)

◎履修届け等については、北大HPの「大学院共通授業」をご覧ください。  
<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/instruction-info/gclass/>

◎マイスターコースの学部3・4年生で受講希望の場合は、事前に高橋英樹教授にご相談ください。  
問い合わせ：総合博物館 高橋英樹 特任教授 (hide@museum.hokudai.ac.jp)

